

2012年

3月25日(日)

10:00~16:45

TKP 赤坂ツインタワー
カンファレンスセンター・ホール 9B

(東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー東館 9F)

参加費：無料(先着 180名)

プログラム案(※プログラムは変更する可能性がありますので、ご了承下さい。)

開会あいさつ 新澤秀則(兵庫県立大学)

【基調講演】これからの日本の環境エネルギー政策と環境ガバナンス
植田和弘(京都大学)

【セッション1】気候変動交渉 20年の軌跡から今後を展望する

コーディネーター：平石尹彦(地球環境戦略研究機関)

井田徹治(共同通信)

亀山康子(国立環境研究所)

小島敏郎(青山学院大学)

西村六善(日本国際問題研究所)

(昼食休憩)

【セッション2】気候変動の国際枠組みのこれからと日本の方針—ダーバン会議の成果を受けて

コーディネーター：高村ゆかり(名古屋大学)

加納雄大(外務省)

黒木昭弘(日本エネルギー経済研究所)

新澤秀則(兵庫県立大学)

浜中裕徳(慶應義塾大学)

【セッション3】これからのエネルギー政策と気候変動政策—日本のビジョンとガバナンス

コーディネーター：植田和弘(京都大学)

浅岡美恵(気候ネットワーク)

小林光(慶應義塾大学)

末吉竹二郎(国連環境計画)

鈴木達治郎(内閣府・原子力委員会)

福山哲郎(参議院議員)

16:30 閉会のあいさつ

参加申し込み方法

<http://www.sdgovernance.org/> のサイトから、本シンポジウムの申し込みをしてください。(先着順)

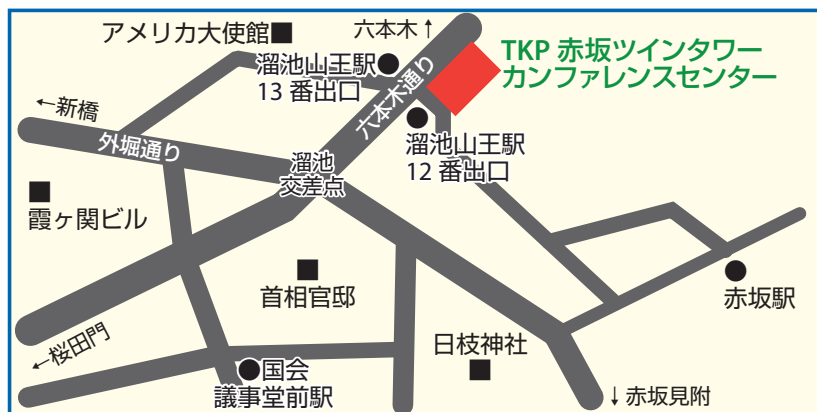
主催

特定領域研究「持続可能な発展の重層的環境ガバナンス」プロジェクト
協力：特定非営利活動法人 気候ネットワーク

お問合せ

E-mail●sdgovernance@gmail.com FAX●075-753-5051(3月22日まで問い合わせ受付)

*原則として電子メールでお問い合わせください。「3月25日のシンポジウム」に関する問い合わせであることをご明記ください。



シンポジウム

特定領域研究「持続可能な発展の重層的環境ガバナンス」

日本の環境エネルギービジョンを探る

20年の気候変動交渉の総括と国内政策の展望

福島第一原発事故を経験し、日本は今、新たな環境エネルギービジョンを再構築する必要性に迫られています。政府は、2012年夏の決定に向けて、新たなエネルギー政策と気候変動政策の方針づくりを進めています。

本シンポジウムでは、日本のエネルギー政策と気候変動政策の今後の展望を探り、それを可能とする国内レベル、国際レベルのガバナンスのあり方について、これまでの研究成果をふまえ、専門家、行政官などを招き、議論を深めることを目的としています。とりわけ、2012年は、1992年にブラジルのリオ・デ・ジャネイロの地球サミットが開催され、気候変動枠組条約が採択されてから20年目の年です。20年の気候変動の国際交渉と国内対策を総括しながら、国際的な動向を踏まえた日本の今後のエネルギー政策と気候変動政策のビジョンとありよう、それを可能とするガバナンスのあり方について議論を深めます。